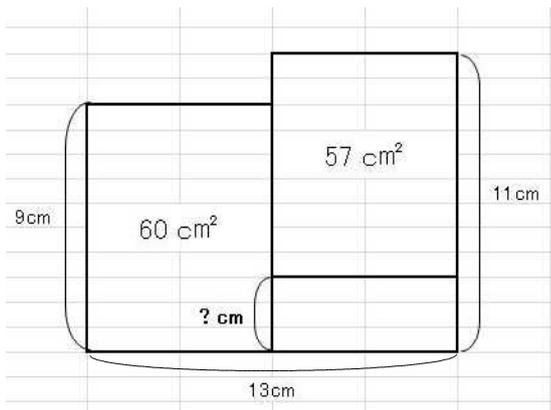


最近、休日の寝る前に「面積迷路」なるパズルを数問（解答2ページ分）やっています。このパズルはもともと理数系専門塾で、小学3年生が分数や小数を使わなくても解けるように作られた課題だそうです。計算力ではなく思考力を鍛えることを重視してあるそうです。大人がやってもいい頭の体操になります。ルールは、長方形が幾つか描かれていて、その中の数値の分かっている長さや面積から、求める長さや面積の数値を解くものです。長方形の面積は、縦の長さ×横の長さ なのですから簡単そうですが、少し工夫がいるものもあります。今までに60問挑戦しましたが、2問が解けませんでした。その内の1問を紹介します。



答えは、説明を受けると「なんだそうか」と思えるものです。長さが分かっている横 13cm と縦 9cm から長方形の面積を求めます。すると、記載ある面積の合計額と一致します。ということから、飛び出している面積と下の不明な長方形の面積は同じことになります。したがって、 $11\text{cm} - 9\text{cm}$  が答えとなります。よく仕事で、手順や理屈通りにはうまくいかない時には、頭で考えてばかりいないで、実際にやってみる。試してみる。工夫をこらす。動いてみる。そうすること

によって、解決の糸口が見つかることが多いですね。偶然、求めていた解決策に完璧に当てはまる場合があります。ときどき、若い人の中には、効率良く（要領よく）仕事をしようとする人もいますが、それでは大きな成長は望めないかもしれません。

## 成功の要件24

（前回の続き）

### 20. まず現状を受け入れ、そして成功・成長できることを信じて疑わない。

欧米の成功哲学などを学び、大きな夢や目標を掲げる人がいます。しかし、うまくいかない場合には、現状認識が出来ていないことが多いようです。逆に、現状ばかりにとらわれると、夢や目標が遙か遠くに感じられ、自信を失ってしまう場合もあります。出発点は今であり、そして、自分の可能性を強く信じ、積極的に行動を続けていく人が成功しやすいようです。

### 21. 良い習慣を身に付ける。習慣化するまで徹底する。

頭では解っていても、それを意識して行動することには大変なエネルギーがいります。だから無意識で出来るようになるまで習慣化することが望ましいのです。しかし、習慣化するには一定の量と一定の時間が必要です。後一步なのに途中で諦めてしまう人も多いようです。

### 22. 変えて良いものと、変えてはならないものの区別が適切に出来る。

基本や根本となるものは簡単には変えてはなりません。慎重に時間をかけて検討します。しかし、枝葉のものは、素早く変えた方がむしろうまくいきます。間違っても直せば済むことです。この区別が間違っていると組織は混乱し、危険にさらされることとなります。また、この決定はリーダーの大事な仕事です。